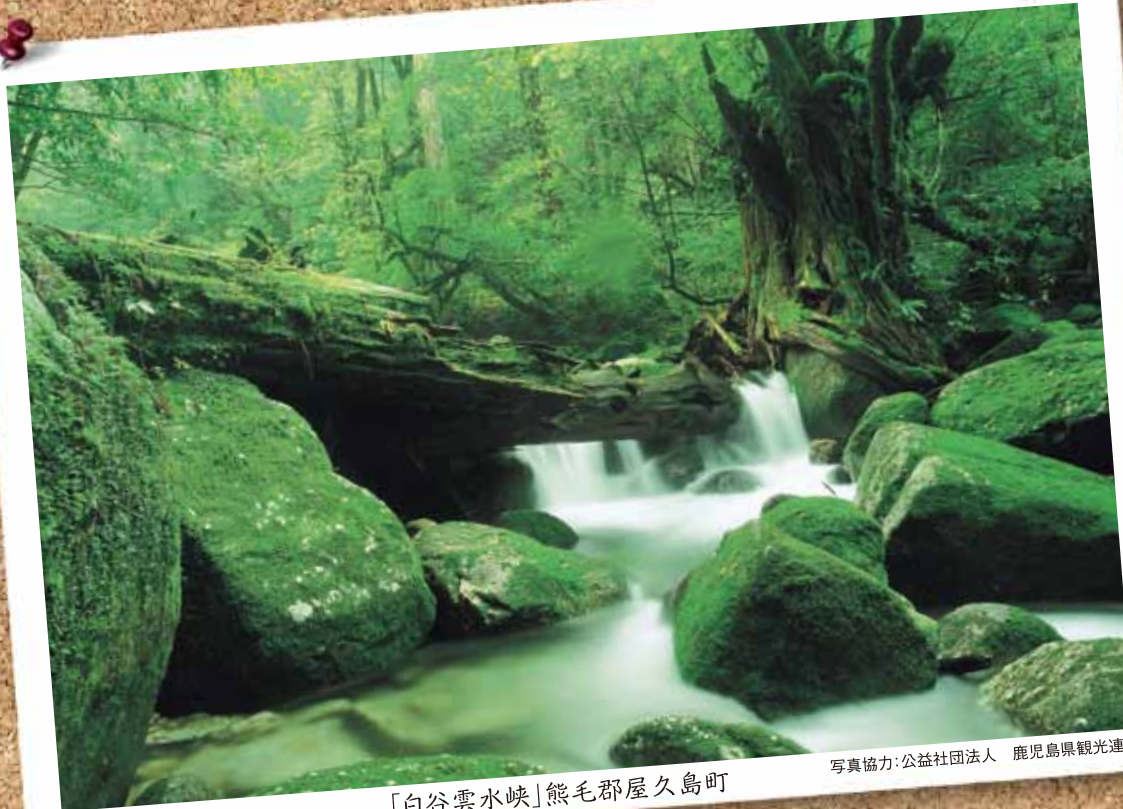


2013.7  
第152号

# 看護かごしま



「白谷雲水峡」熊本郡屋久島町

写真協力:公益社団法人 鹿児島県観光連盟

平成25年度  
鹿児島県看護協会会員数

保健師	429人
助産師	326人
看護師	9,282人
准看護師	948人
合計	10,985人

平成25年7月5日現在  
※前年同月より323人増となっております。

## Contents

鹿児島県看護協会総会報告	2
役員名簿・日本看護協会名誉会員・鹿児島県看護協会名誉会員	3
平成25年度 鹿児島県看護協会会長表彰者・日本看護協会会長表彰者	4
平成25年度 役員あいさつ	5
日本看護協会通常総会・職能別交流集会報告	6
看護の日記念式典・看護業務功労者知事表彰・まちの保健室・教育より	7
ナースセンターだより	8・9
心に残る看護体験	10
オイDONが病院	11
理事会報告	12

## 平成 25 年度

# 公益社団法人鹿児島県看護協会通常総会報告

平成 25 年 5 月 25 日、公益社団法人鹿児島県看護協会の通常総会が参加者 408 名、委任状 7,574 名、計 7,982 名のもと開催された。

式典では、物故会員への黙祷の後、平川涼子会長より挨拶があり、昨年 4 月から公益社団法人として新たにスタートし、会員のみならず県民の健康生活向上のために貢献していくことを力強く述べられた。県保健福祉部より松田典久部長、県医師会より会長代理で理事の鹿島直子氏から祝辞を頂いた。来賓紹介、祝電披露に引き続き鹿児島県看護協会会長表彰が行われ、20 年以上協会会員として協会活動並びに保健医療福祉の分野で活躍貢献している 31 名の方に賞状と記念品が授与され、受賞者を代表して福島ミネ氏（沖永良部徳洲会病院）より挨拶が述べられた。

総会では、議長団及び議事録署名人の選出後、議決事項の審議に入った。第一号議案「総会運営規則の制定」は、公益社団法人として定款に基づく総会運営規則の制定であり、全会一致で採択された。第二号議案は看護師職能委員会の領域を 2 つに分け、病院領域を看護師職能委員会Ⅰ、介護福祉関係施設・在宅等領域をⅡと改正するための「定款の一部改正」で全会一致で採択。第三号議案「理事報酬の上限額の改正」は、現行に常任理事の退職慰労金の額が含まれていなかったことに対する議案であり全会一致で採択された。

これまで本会の礎を築いて頂いた、75 歳以上になるまで会員であり、かつ平成 25 年度に 80 歳以上である方のうち本人の承諾を得られた 11 名を一括推薦とした、第四号議案「名誉会員の推薦」は、全会一致で採択された。採択後、名誉会員の



紹介が行われ平川会長より名誉会員証の授与と花束（ブーケ）の贈呈が行われた。第五号議案「平成 25 年度改選役員及び推薦委員の選出、平成 26 年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出」は、選挙管理委員会により選挙が行われ、副会長 1 名、常任理事、保健師職能理事 1 名看護師職能理事Ⅱ 1 名、地区理事 3 名、監事 2 名並びに代議員 12 名と予備代議員 12 名が選出された。なお、本会が公益社団法人になったことから、今回は、委任状数も投票数にカウントされた。

承認事項である第六号議案「平成 24 年度収支決算及び監査報告」は、全会一致で承認された。

報告事項である鹿児島県看護協会理事会報告、職能委員会報告については口頭で、日本看護協会理事会報告、常任・特別委員会報告、地区活動報告は書面での報告がなされた。平成 24 年度事業報告、平成 25 年度重点事業及び事業計画、平成 25 年度収支予算についての説明・報告があり、県内の看護職を取り巻く環境、公益団体としての県民への貢献、日本看護学会の開催などを基に、平成 25 年度は重点事業として、「健康で安全に働き続けられる職場づくり」「在宅・介護領域を支える看護師職能の強化・充実」「看護の質向上」「協会活動の情報発信の強化」「日本看護学会（老年看護）学術集会の開催」の 5 項目を掲げ、事業計画としてはナースセンター事業強化等多くの新規計画が報告された。公益社団法人 2 年目として、県民から期待され信頼される団体として事業活動を推進していきたいという熱い思いが伝えられた。

文責：向窪 世知子



平成 25 年度 公益社団法人鹿児島県看護協会 役員名簿 

役職	氏名	勤務先
会長	平川 涼子	公益社団法人鹿児島県看護協会
副会長	原田 ゆう子	鹿児島中央看護専門学校2年課程(通信制)看護科
副会長	向窪 世知子	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
専務理事	宮 蘭美恵子	公益社団法人鹿児島県看護協会
常任理事	加治屋 伸子	公益社団法人鹿児島県看護協会
保健師職能理事	東 郷 令子	鹿児島市西部保健センター
助産師職能理事	吉 留 厚子	鹿児島大学医学部保健学科
看護師職能理事	赤 崎 えり子	ケアセンターやごろう苑
看護師職能理事II	富吉 奈美子	鹿児島市立病院
鹿児島地区理事	長 田 いつよ	鹿児島市医師会病院

役職	氏名	勤務先
南薩地区理事	服 部 郁代	金子 病院
川薩地区理事	深 川 俊子	薩摩郡医師会病院
出水地区理事	淵 上 淳子	出水総合医療センター-高尾野診療所
始良伊佐地区理事	松 枝 文子	霧島市立医師会医療センター
大隅地区理事	牧之瀬小夜子	曾於医師会立病院
大島地区理事	仁 添 絹子	奄 美 病 院
准看護師理事	永 田 清美	青 雲 会 病 院
監 事	財 部 マチ子	鹿児島大学医学部保健学科
監 事	古 川 康 郎	外部からの監事

安永 和子氏 (保健師) 日本看護協会名誉会員に 



安永 和子氏

平成25年  
6月19日(水)  
会長室にて



日本看護協会  
名誉会員記念品

平成 25 年 6 月 4 日、日本看護協会通常総会に於いて、日本看護協会名誉会員が推薦され、鹿児島県からは安永 和子様承認されました。都合により総会に出席できなかった為、6 月 19 日、鹿児島県看護協会会長室に於いて、名誉会員証及び記念品の授与を行いました。

平成 25 年度 鹿児島県看護協会 名誉会員 

平成 25 年度に一括推薦されました 11 名の名誉会員のみなさんです。平成 25 年度通常総会において承認され、平川会長より名誉会員証の授与と花束(ブーケ)が贈呈されました。

- |         |         |
|---------|---------|
| 愛 甲 美恵子 | 平 城 工 ミ |
| 井 上 敦 子 | 町 田 ノ リ |
| 今 井 洋 子 | 安 永 和 子 |
| 平 典 子   | 若 浜 悦 子 |
| 田 中 コリ  | 若 松 かをい |
| 八反田 静 子 |         |
- (敬称略)



平成25年5月25日 名誉会員授与式出席者

## 平成 25 年度 鹿児島県看護協会会長表彰者



氏名	所属
赤瀬和代	始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部大口支所(大口保健所)
有村久美	国分中央病院
伊勢恵子	独立行政法人国立病院機構南九州病院
伊比禮まり子	肝属郡医師会立病院
岩寄文枝	鹿児島純心女子大学
宇治野由美子	介護老人保健施設クオリエ
宇都由美子	鹿児島大学病院医歯学総合研究科
岸田時子	鹿児島県立大島病院
笹川純子	鹿児島県保健福祉部障害福祉課
新村加代子	鹿児島県看護協会 訪問看護ステーションかごしま
杉田郁子	鹿児島県保健福祉部健康増進課
堤由美子	鹿児島大学医学部保健学科
中久保さみ代	鹿児島市立病院
中村育美	なかむら内科病院
永山えみ子	南薩地域振興局保健福祉環境部
橋元洋子	大隅地域振興局保健福祉環境部(鹿屋保健所)

氏名	所属
馬場廣美	社会福祉協議会
早水裕子	谷山病院
東香代子	鹿児島医療生協本部
平口幸子	出水郡医師会立第二病院
福島ミネ	沖永良部徳洲会病院
福元和子	公益財団法人慈愛会今村病院分院
藤崎美代子	県民健康プラザ健康増進センター
古川秀子	今給黎総合病院
堀之内広子	鹿児島県子ども総合療育センター
松野陽子	介護老人保健施設コスモス苑
松原幸江	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
丸目まり子	鹿児島県立北薩病院
山口智代子	田上病院
山ノ内優子	済生会川内病院
山元ひとみ	鹿児島県立始良病院

五十音順

## 平成 25 年度 日本看護協会会長表彰者



赤崎えり子 (看護師)

平 玲子 (助産師)

## 平成25年度鹿児島県看護協会新任・再任役員のごあいさつ



副会長  
原田 ゆう子

副会長として2期目をお引き受けすることになりました。

県民の健康レベルの向上を支援する役割を担う最大の専門職集団である看護協会のために、会長を補佐しつつ、役員の方々や会員の皆様と一緒に頑張りたいと思います。

今期も、私の役割として、働き続けられる職場づくりの為に“ワークライフバランス推進”と看護の質向上の為に“看護師資格取得を目指す准看護師の進学支援”の事業に取り組みます。どうぞ、よろしく願いいたします。



常任理事  
加治屋 伸子

鹿児島県看護協会が公益社団法人として新たにスタートして2年目を迎え、これまで以上に協会の役割や存在が

大きくなり、活動の充実と発展が期待されております。このような大事な時期に常任理事の役を引き続きお引き受けすることになりました。

教育研修を主に担当しますが、協会活動全般に関しても任を果たせるよう、そして皆様に協会が身近な存在、頼れる機関であると思っただけのよう微力ではありますが努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



保健師職能理事  
東郷 令子

この度、保健師職能理事をお引き受けすることになりました。

国民の意識が多様化し、少子・高齢社会が進む中で、保健師活動は、多岐にわたり、保健師自身も悩みその在り方が問われています。

前任の保健師職能委員の取り組みを引き継ぎながら看護協会の仲間を増やし、看護職同志の連携に努め、若い保健師が看護協会の中で、成長していくことを支援していきたいと思ひます。

会員のみならず、どうぞよろしくお願い申し上げます。



看護師職能理事Ⅱ  
富吉 奈美子

この度、看護師職能Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域)の理事をお引き受けすることになりました。看護師

職能Ⅰ(病院領域)の看護師職能委員と連携をとり、事業活動を進めていきたいと思ひます。看護職員が安心して働き続けられる職場環境づくり、看護の質の向上にむけ、介護・福祉関係施設、在宅で働いている看護職員の意見を集約し、課題を提言していきたいと思ひます。また、現場の意見を事業内容に反映できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



川薩地区理事  
深川 俊子

この度、川薩地区理事をお引き受けすることとなりました。川薩地区は、地区会員の資質の向上や潜在看護職再就業支援事業、地域住民と交流する場での健康啓発活動など積極的な組織運営を実践しています。地区長として微力ではありますが、歴史ある地区活動を引継ぎ、会員の皆様が参加しやすく元気になれる会の運営ができればと考えています。宜しくお願い致します。



始良伊佐地区理事  
松枝 文子

この度、始良伊佐地区理事を務めさせていただくことになりました。始良伊佐地区は広域にわたりますが、一人ひとりの会員の皆様と一回でも多くお会いする機会をつくり、ネットワークの強化と会員数の増加に努めてまいります。また、地域活動として、魅力ある看護職を知っていただくための出前授業や、地域の事業にも積極的に参加し、貢献できるように頑張りたいと思ひます。微力ではありますが、皆様のご指導ご支援よろしくお願い申し上げます。



大島地区理事  
仁添 絹子

このたび、大島地区理事をお引き受けすることになりました。大役に身の引き締まる思いと不安で一杯ですが、何事も勉強・経験と思い頑張りたいと思ひます。

前理事が取り組んでこられた①協会会員の増員②ワークライフバランスの推進③地域住民の健康増進にむけ情報の提供、これらが達成できるよう役員のみならずと協力し取り組んでまいりますので、ご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



監事  
財部 マチ子

この度、監事をお引き受けすることになりました。看護協会は職能団体として、研修、情報提供、現場の課題の収集・検討、政策提言等、重要な役割を担っていることを、鹿児島市の保健師38年間を通して実感しています。この3月で定年退職し、5月から11ヶ月間保健師の教育に携わることになりました。生涯看護協会会員を宣言し、微力ですが、看護協会活動と現場、会員ひとりひとりのさらなる運動について考えていこうと思ひます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



監事  
古川 康郎

このたび、監事に就任させていただきました。公認会計士の仕事を始めてから32年になりますが、現在は地元の監査法人での監査業務と個人事務所での諸業務を行っております。

医療関係、公益法人及び公的機関の業務等も行ってきた関係で看護業務の知識も多少はあるつもりですが、今後は会員の皆様にさらに多くの現場実務を教えていただきながら、状況を踏まえた監事業務の遂行と僅かでも協会への貢献ができればと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 総会報告



## 平成 25 年度 日本看護協会通常総会に参加して

看護師職能委員 中島 久美子  
(准看護師)

6月4日・5日に千葉の幕張メッセに於いて日本看護協会の総会が行なわれ参加させていただきました。

全国各地から約 3000 人の代議員、一般会員の方が集合、1日目は第1号議案、名誉会員の推薦があり 10 名の方に名誉会員証が贈呈され、本県からも安永氏が承認、名誉会員証が贈呈されました。次に報告事項があり平成 24 年度の事業報告と決算報告及び監査報告がなされました。

2日目の報告事項3では、平成 25 年度重点政策・重点事項並びに事業計画の7項目の説明があり、1番目の「健康で安全に働き続けられる職場作り」においては新人看護師の離職率が減少してきているとのこと、また4番目の「労働と看護の質向上のためのデータベース事業の構築」においては本年6月15日より試行事業の実施が始まるとのことでした。

質疑応答では1日目、2日目共に質問時間が決められているために各県が抱えている問題など現場の生の声として質問時間が足りなくなるくらい意見が多くてました。それに対して執行部の明確な説明をされているのには驚かされました。また、日本看護協会会長表彰があり、本県から赤崎氏と平氏の2名の方が表彰されました。

坂本会長が看護職は国民のニーズに応じていくために先見性と実行性をもって「進化と深化」を続けていく専門職であると述べられました。今何が看護職として必要かを考えて行動していきたいと思います。

今回このような機会を頂き参加できたことを感謝いたします。

## 保健師交流集会に参加して

保健師職能委員 堀之内 貢子



6月6日、全国保健師交流集会が開催され各地から多くの保健師が参加されました。

職能委員会活動報告では自治体や産業保健分野・地域包括支援センターの現状や課題が報告され、平成 25 年度は保健師活動の体制確保と機能強化などに重点的に取り組むことや、その一環として「地域における保健師活動

指針」の普及。新任期を対象にした保健指導ミーティングの実施、統括保健師の配置促進、地域包括ケアシステムにおける保健師の機能と役割の実態把握など中板委員長から説明がありました。特別講演では厚労省尾田進室長から、従来の保健師活動指針を局長通知・課長通知・保健指導官事務連絡の3部構成から局長通知一本化したことなど生みの苦しみで作りあげた経緯について話がありました。講演を受け「今、本気で伝えたいこと～保健指導指針見直しのプロセスの中で～」と題しシンポジウムがあり、奈良県看護協会や検討会委員である今村奈良県立医科大学教授、全国保健師長会会長から指針改正後の全国の動きや取り組み事例等の報告がありました。

今回交流集会に参加し、保健師活動が様々な領域に広がっている今、それを支える策として協会を中心に国の指針改正に結びつけられたことの重さを感じました。今後指針をもとにできることから実践していくことが将来の保健師活動へつながるものではないかと思いました。

## 助産師交流集会に参加して

助産師職能委員長 吉留 厚子



日本看護協会通常総会後に、全国助産師交流集会が国際会議場で開催され、福井理事より助産関連の平成 25 年度重点政策・重点事業が説明されました。「助産実践能力の強化とその体制整備」を掲げ、実施内容として1. 助産師の就業先偏在の是正への提案 2. 助産師の助産実践能力強化支援 3. 院内助産

システムのさらなる推進 4. 助産関連政策の検討・提言(助産師の適正配置に関する検討と提言) 5. 助産実践能力強化とその体制整備に全国展開の推進について詳しく説明がありました。その後、「ALL JAPAN で活用する助産師のクリニカルラダー」についてワーキンググループから説明があり、約 400 人が熱心に聞き入りました。注目する課題であったので、想像以上の参加者で会場が狭く感じられました。午後からのグループ討議もクリニカルラダーについて、前向きに取り組もうと考える人や、最初からできないと話す人など様々でしたが、助産師の質の高いケアを実践し、他者に可視化するためには必須であると思いました。助産師が自信をつけて助産を実践することは母子の安全を保障することにつながるのではないのでしょうか。クリニカルラダーを周知させるよう今年度は取り組んでいくつもりです。

## 看護師交流集会Ⅰ(病院領域)に参加して

看護師職能委員長 赤崎 えり子



平成 24 年度看護師職能委員会Ⅰの活動報告、病院における労働環境の改善を目指し①看護職の夜勤・交代制勤務ガイドラインの普及②急性期病院における看護補助者の活用等、現状の実態・成果の説明がありました。平成 25 年度活動方針は、これまでの看護職自身の働き方を見直し、労働環境改善の工夫も必要と

されます。2025 年問題を捉え、病院で働く看護職が、地域ケアを意識した看護の展開への取り組みが課題になります。

基調講演は、坂本氏が協会会長が「看護の未来を創造する～私たちの仕事と専門性～」について、2025 年問題は看護職にとっては社会に求められ、大きなチャンスが巡ってくる好機の時代であることを示唆され、看護とは何か、看護の仕事とは何かを問われ、看護師の役割は「間隙手」であると述べられた。シンポジウムは「未来に向けて、変わるもの、変わらないもの～看護のコアを見つめて～」が開催されました。医療環境が大きく変化する中、他職種との連携・協働・委譲を図りながら、しかし、変わらないものは、いつものようにを支えること【看護のコア】は変わりません。いつものようにを支えるケア、生活を支援するケア、やりたい看護ができるよう前進していきましょう。

## 看護師交流集会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域)に参加して

医療法人青仁会池田病院 前野 かづ子



6月6日、全国看護師交流集会Ⅱ「介護・福祉関係施設・在宅等領域」が開催されました。2才になった看護師職能委員会Ⅱとして活動と成果そして方向性について、斉藤訓子委員長から説明がありました。平成 24 年度に行なった高齢者ケア施設で働く看護職員の実態調査では、オンコール手当がないこと、看取りについてのガイドラインはあっても、活用する術を知らない人がいること等が明確になりました。これらのことから、オンコール業務の負担軽減と看取りケア指針整備に早期に取り組んでいくことを力強く宣言されました。

介護施設での看取りの問題、現場で働く看護職の処遇の問題等課題は山積していますが、看護師職能委員会Ⅱとして日本看護協会の事業活動に位置付けられたことを、参加した 800 名近くの会員は好意的に受け止め、その活動に期待していることの熱気が伝わってきました。逼迫している少子・超高齢・多死時代に立ち向かうため、看護師職能委員会Ⅱの果たす役割は今後益々重要になってくると実感いたしました。

だれも経験したことのない時代に突入です。「治す医療から支える医療」へのパラダイムシフトを皆の英知を結集して遅く乗り越えていきましょう。

## 平成 25 年度「看護の日」記念式典

平成 25 年 5 月 30 日（木）、鹿児島県、鹿児島県医師会、鹿児島県看護協会の共催で、鹿児島県庁講堂を会場に「看護の日記念式典」が開催されました。

看護業務功労者表彰に於いては、鹿児島県知事、鹿児島県医師会長のご挨拶を頂き、本協会からは、平川涼子協会長が挨拶しました。その後、永年にわたり鹿児島県に於いて看護業務に従事され、保健医療の向上発展にご尽力くださいました 10 名の方の授賞式があり、受賞者代表の宮本順子様がお心温まる挨拶をされ、皆様から盛大な拍手で会場は祝賀ムードに包まれました。

講演は、認知症をテーマとし、広報を行った結果、一般の方も看護職以外の医療職の方も例年を上回る 305 名の参加者となり、テーマに掲げていた「看護の心を皆の心に」という目的が少し達成できたのではないのでしょうか。



黒野 明日嗣 先生

## 平成 25 年度「看護の日」看護業務功労者県知事表彰

石之神 和子	菊野病院
植田 みよ子	鹿児島市立病院
小原 智代子	始良保健所
平 玲 子	奄美看護福祉専門学校
萩原 幸子	浜崎医院
日高 ミツ子	加世田病院
福 島 ミネ	沖永良部徳洲会病院
福吉 すぎよ	谷山病院
松田 末子	下甌手打診療所
宮本 順子	霧島市役所



## まちの保健室

平成 25 年 5 月 11 日（土）、イオン鹿児島ショッピングセンター 1 階 風の広場に於いて、「まちの保健室」を開催いたしました。

今回は、バルンアートの参加、プチナース体験の復活で親子で看護に興味を持ってもらえたのではないかと思います。その他、各種測定や健康相談も行い、県民の方々の健康に対する意識向上に繋がったのではないのでしょうか。イオンでの開催が定着してきており、「今年も来たよ。気軽に来れるし、無料だし。来年もよろしくね。」といった声も聞かれ、1537 名という大勢の方に足を運んでいただいた一日でした。

## 継続教育の基準 Ver.2 活用のためのガイドの公表について



昨年、日本看護協会から「継続教育の基準 Ver.2」が公表され、すでに研修計画や研修支援に活用している施設もあるかと存じます。この度、「継続教育の基準 Ver.2」の利用手引が作成され、日本看護協会ホームページからダウンロードできるようになりました。各施設での継続教育のさらなる充実及び個々のキャリア開発のために是非御活用ください。

<http://www.nurse.or.jp/nursing/education/keizoku/index.html>

### 25 年度から会員の希望者に受講印を押印しております！

希望者は研修会当日教育計画を御持参し、41 頁の「受講記録一覧表」に必要事項を御記入のうえ係に提出して下さい。

御自身がどのような学習をされたのかの証明にもなりますので、是非御活用ください!!

# ナースセンターだより


**新規**
**ハローワークでのお仕事相談が始まりました!**

平成 25 年度から、ハローワークにナースセンターの相談コーナーが開設されました。看護職の就業相談員が、あなたの悩みに丁寧に対応します。お気軽にご相談ください


**【相談例】**

- ◆ 少しブランクがあるけど、働ける施設があるだろうか
- ◆ これまで単科での経験しかないが、これからどんなところで働けるか?
- ◆ 子ども中心で働きたい。職場選びでのポイントを教えてください。等

**【相談会場】**

ハローワークかごしま  
(鹿児島公共職業安定所)  
〒890-8555  
鹿児島市下荒田 1-43-28

**【今後の相談日程】**

7月22日(月)	} 時間は 13:30 ~15:30 です
8月22日(木)	
9月26日(木)	
10月24日(木)	

**ふれあい看護体験発表**

5月30日(木)、鹿児島県庁講堂で開催された「看護の日記念式典」において、やまびこ医療センターと県立始良病院で『ふれあい看護体験』をされたお二人の方に、発表をしていただきました。

やまびこ医療センターの橋本慶子さんは、栄養士としての立場から、「食事の提供をして、施設の看護理念である『愛されているという安心感を提供』したい」という思いを発表されました。

始良市民生委員の徳永聡子さんは、「情報保護の問題や社会復帰への関わり方などについて学び、これからは資質向上のための努力をしていきたい」と体験発表を結びました。


**WLBワークショップ開催のご案内**
**働き続けられる職場づくり(平成25年度WLB推進事業)**

昨年の5施設につづき、本年度は、慈愛会今村病院、慈愛会今村病院分院、恒心会おぐら病院、鹿児島市医師会病院の4施設が取り組みを開始しています(鹿児島市立病院はインデックス調査のみ参加)。

10月8日(火)、9日(水)にワークショップを行います。午前中は公開講座になりますので、たくさんの御参加をお待ちしています。お申込み方法等については、ホームページで御案内予定です。


**鹿児島県  
ナースセンターを  
ご利用ください!**

あなたの周りに、お仕事を探している友人・お知り合いの方はいませんか。各県に設置されているナースセンター(看護師等無料職業紹介所)では看護職の皆さまの就職をお手伝いします。

**ぜひご登録下さい!(求人・求職)**

ネットからの登録はe-ナースセンターで!

<http://www.nurse-center.net>

(類似のサイトにご注意ください)

kagoshima@nurse-center.net

住所: 鹿児島市鴨池新町21-5  
看護研修会館1F

Tel: 099-256-8025

Fax: 099-256-8079



## 看護の資格を生かして、もう一度働きたい皆様へ 再就業支援セミナー受講生募集!

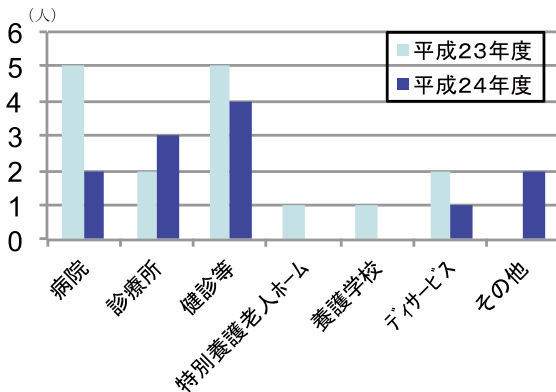
ブランクがあり再就職に不安をお持ちの方が、看護職として無理なく復帰していただけるよう研修会を実施します。

日時・場所 **平成25年11月5日(火)～21日(木)** (6日間)  
 講義 10:00～15:30 (鹿児島県看護研修会館)  
 実務研修 9:00～16:00 (近隣の病院等)

受講資格 **就業していない、または再就職1年未満の保健師・助産師・看護師・准看護師**  
 受講料 無料 (ただし、損害賠償保険など諸経費として2000円が必要)  
 受付期間 **平成25年9月3日(火)～9月20日(金)まで**  
 申込方法 電話、メール、来所にてお申し込み下さい。

日時	10:00	13:00	16:00	
11/5(火)	開講式 オリエンテーション	呼吸・循環と フィジカルアセスメント	就業 相談	
11/6(水)	看護の動向 と看護倫理	医療事故防止の 取り組み		
11/12(火)	看護過程と記録	救急時の対応		
11/13(水)	院内感染防止	看護技術		
11/19(火)	実務研修(9時～)	実務研修(～16時)		
11/21(木)	皮膚・排泄ケア	まとめ	閉講式	就業相談

\*講義内容と日程については、講師の関係等で変更する場合があります。



昨年度のセミナー受講者のうち未就業者16名中、6月現在で12名の方が受講後に看護職として復職をされています。



<大隅地区開催のお知らせ>

今年度は、再就業支援セミナーを大隅地区でも開催します。  
 日時・内容については、鹿児島県看護協会ホームページで御案内致します。

◆再就業支援セミナー申し込み先◆

### 鹿児島県ナースセンター

住所 〒890-0064  
 鹿児島市鴨池新町21-5  
 TEL 099-256-8025  
 E-mail kagoshima@nurse-center.net

## 看護学校訪問を始めました!

新規

これまでの就職ガイダンスに代えて、直接学生に働きかける学校訪問を始めました。

看護職の素晴らしさやふるさとへの思いを織り交ぜながら、学生に県内就職を話しかけています。6月現在で、すでに大半の学生の就職が決まっている学校もあるようです。少しでも鹿児島の保健医療の向上につながることを信じて語りかけていきます。

### 訪問看護研修フォローアップ研修のご案内

日時: 平成25年10月26日 (土)  
 午前9時から午後4時まで  
 ※詳細は、鹿児島県看護協会ホームページに掲載予定です。

### 鹿児島県の求人・求職登録状況 (3月～5月分)

(人)

	有効求人数					有効求職者数					就職者数				
	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計
3月	20	5	388	15	428	10	4	113	12	139	1	0	16	1	18
4月	17	5	407	18	447	13	6	118	12	149	0	0	10	1	11
5月	26	8	399	21	454	13	7	146	13	179	0	2	33	1	36

## 心に残る 看護体験



国立療養所奄美和光園 清瀬 はるみ

国立療養所奄美和光園で看護師として働き始めて31年目に入りました。入所者は、平均年齢83.4歳で平均在園年数50年余りの大先輩です。そんな方々と関わりを持つ中で様々な体験をさせて頂きました。中でも私を育てて下さった一生忘れずの事思い出に残る看護体験を伝えたいと思います。

受け持った入所者はハンセン病後遺症による障害が多く、残った機能は知力・聴覚と口唇の感覚だけで日々は援助を受け生活をしていました。しかし、自分が好む特定の職員に生活援助を望む事が多く、意に沿わない事があると感情的に大きな声で言葉を発する事もありました。多くの職員はその入所者の担当になると緊張する勤務で、皆どう関わればよいのか戸惑う事ばかりでした。そして、それがまた悪循環になりその方の要求が満足できない結果になってしまう事も多々ありました。

あまり自分の事を語られないこの方の日々を見守りながら要求される前に訪室する事に心がけ、自分にできる事を少しずつ増やしていきました。要するに本人の要求や言葉の裏にある真意に応えようと努めていったのです。3カ月目に入ったある日、突然その方が「よくわかってくれた」と独り言のように呟かれ「プザー押すのは遠慮があるんだ」と優しく教えて下さったのです。その時の嬉しさは言葉では表せない程でした。

この時から「命の限り」毎日を入所者の為に役立てようと心に決め、今日まで走り続けています。ハンセン病療養所の中で沢山の入所者の方に出会い沢山の事を教えていただきました。これを宝として大切に今後の看護人生を頑張っていこうと思います。



国立療養所奄美和光園 松下 徳寿

看護師になり、今年で7年目となりました。現在は国立療養所奄美和光園で勤務しています。私が心に残った看護体験として、高齢で全盲の患者さんを受け持たせて頂いた時のことです。栄養はすべて胃瘻からの経管栄養で、

膀胱留置カテーテルを使用していました。日々の看護を行うなかで私は「今、この方に本当に留置カテーテルが必要なのか」という疑問を抱きました。カンファレンス等をおこなった結果、あらためて必要性が見直され留置カテーテルを抜去したところ、ポータブルトイレでの自己排尿が可能となりました。これにより、おのずと看護師とのコミュニケーションの機会も増え、次第にご飯や果物を食べたいという言葉が患者さんから聞かれるようになりました。現在は、胃瘻から注入食の傍ら、昼、夕と経口による食事も摂れるようになりました。もちろん、私ひとりの力で現在に至ったわけではありませんが、「美味しい、美味しい」と食事される姿をみるにつけ、嬉しい気持ちを思い出すとともに、あの時、思い切って言って良かったなあと看護のやり甲斐をしみじみと感じます。まだまだ未熟ですが、それぞれの患者さんのQOLを高めるためにはなにが必要かを考え、患者さんの想いを理解することを目指して日々奮闘したいと思います。



徳之島徳洲会病院 牧 和美

看護に携わり約28年が過ぎようとしています。徳之島は離島であり重度疾患の場合、専門医がおらず設備も十分でない為、島外搬送しなければならない事が多々あります。

私も自衛隊のヘリで搬送に同行した経験は何度もありますが、その中で一番印象に残っている出来事があります。

それは5月というのに台風で、悪天候の日でした。師長から島外搬送依頼の連絡が入り「こんな台風なのに搬送ですか?」と内心思いながら病院へ向かいました。搬送する患者は、10ヶ月の女児で複雑型熱性痙攣で自発呼吸はなく挿管していました。患児の観察中、悪天候で自衛隊ヘリが飛ばないので海上保安庁巡視船になりますと連絡が入り、両親と医師と私は酔い止め薬を飲み巡視船に乗り込みました。船は予想外の大揺れでお母さんはぐったり、私は船酔いが激しい為患児の観察もままならず、約2時間かけて搬送先の病院に到着しました。申し送り後そのまま病院の寒いロビーの椅子に毛布もなく医師と3時間程仮眠し、そしてタクシーで港へ行き定期船で帰島しました。2~3日後、母親に電話を入れ「搬送に同行した看護師の私が船酔いしてしまいすみません」とお詫びしました。後日、病院に母親が子供を連れて来られました。子供はすっかり元気になっており、「ごめんね。元気になって良かったね。」と声をかけ涙が止まりませんでした。看護するはずの看護師の私がこの様な状況で本当に申し訳なく思いました。しかし、「何とかしてあげたい」という気持ちはお母様に通じたと思っています。この経験から本当に離島医療の大変さを痛感しました。



徳之島徳洲会病院 中居 恵美

看護師になり4年が経ちました。以前から離島医療と在宅医療に興味があり、現在その夢が実現しています。しかし、離島では、医療の限界を感じることも少なくありません。

そのような中で現在、訪問看護に勤務し半年が経ちます。訪問看護では患者様や家族の方と深く関わることができ、住み慣れた在宅で生き生きと生活されている患者様の表情や、笑顔で掛けてくださる有難うという言葉に励まされることも多く、日々やりがいを感じています。しかし、急性期病棟での経験しなかった私にとって、がん末期の患者様との関わりは戸惑いばかりで、日に日に体調が悪化していく姿にかける言葉が見つからなかったり、訪問に来るのを楽しみに待っていてくれるのに何もしてあげられないような気がして、逆に辛かったりと半ば訪問するのが苦痛な時もありました。その時先輩看護師から、無理に何かをしてあげなければと考える必要はなく、自分の思いを素直に伝え、とにかく患者様に寄り添い患者様に触れること、というアドバイスを頂いた後の訪問から、心の中がずっと軽くなり患者様と素直に向き合うことができるようになってきました。

深く関わることができる反面難しいこともあります。患者様一人ひとりの人生の一部に関わることのできる訪問看護の素晴らしさを、もっと感じていきたいです。



田上病院は、「オイ DON が病院」で、以前ご紹介いただいた事がありますが、鹿児島から飛行機で30分、高速船で90分の種子島の地にあります。種子島は、稲作の発祥の地、鉄砲伝来、宇宙開発基地、サーフィンの聖地としてご存知の方も多と思います。

田上病院は、昭和44年に中学校の建替え時の古材で作られ、「田上容正内科」として13床でスタートしました。島内に透析施設がなく、財産を処分して本土に移り住む方々のためにも島内で透析治療ができるようにと願い、昭和55年透析を開始しました。その後、「種子島の医療は種子島で」を合言葉に、熊毛地区の地域中核病院としての体制を充実させ、平成15年に現在の204床（一般病床152床、回復期リハ48床、感染病床2床、結核モデル病床2床）の病院となりました。現在、離島という特性から、当法人は急性期のみならず亜急性期や慢性期医療、介護サービスを含めて全てのニーズに対応しております。平成22年に鹿児島県で4番目の社会医療法人として認可を受け、標榜科も17診療科となり、種子島でも専門医の診療を受けることが可能になりました。急性期病院として医療機器・設備面も年々充実を図っておりますが、今年6月には東芝320列マルチCTシステムと1.5TMRIシステムの更新が予定されております。43年の歴史の中で、患者様を思い、常に患者様に選ばれる病院になるように「島民に愛され信頼される病院」を理念として、コミュニケーションを重視した温もりの医療を実現する為に日々努力を重ねているところです。

看護部は、看護師90名、准看護師52名、看護助手31名、医療クラーク15名のスタッフで構成され、看護師平均年齢39歳、在勤年数平均9.3年



となっております。入院基本料10対1を算定しておりますが、島内の救急患者が24時間365日搬入されるため、雑務を少しでも無くし、患者様に自分の家族のように向き合い、ゆとりを持って接することが出来るように、H16年に電子カルテを稼働、H22年にシステムを更新し、チーム医療を効率的に提供できるように努力しているところです。紙カルテの頃は、平均10時間以上あった残業も、現在では1.5時間/月と大幅に短縮され、4連休以上のリフレッシュ休暇取得率も90%となり、ワークライフバランスにも積極的に取り組むことが出来るようになりました。2年毎の国内外の職員旅行は好評で、昨年は10コースに50%以上の職員がリフレッシュ休暇を利用して参加し、職員間の交流を深めました。

田上病院の魅力は、団結力だと思います。職員が一丸となって医療機能評価認定を受け、職員同士が助け合いながら電子カルテを更新しました。離島ならではのハンデもありますが、色々な事を通して「何事もやればできる」という職員の底力を感じることが出来ます。

今後も看護部では、人材確保と人材育成に重点を置き、看護の質の向上に向けて、院内・院外研修を計画的に実施し、キャリアアップに繋がるように教育を進めていきたいと思っております。また、職員が自分達の病院を誇りに思い、働きやすい職場として、皆様にご紹介出来る病院にしたいと考えております。



次回は **加治木温泉病院**  
です。お楽しみに！

## 理事会 報告



平成25年4月27日(土)

15名出席

### ◆協議事項

- 1 平成24年度収支決算及び監査報告関係資料について
- 2 定款施行細則の改定について
- 3 平成25年度通常総会について
- 4 三職能集会のプログラムについて
- 5 地域医療再生計画事業等調書の提出について
- 6 再就職支援セミナーの鹿児島市以外での実施地区について

### ★報告事項

- 1 県看護協会各種委員会活動、関係団体会議出席等報告
- 2 県協会名誉会員候補者死去に伴う対応について
- 3 平成25年度地区集会おける県会長挨拶について
- 4 県協会通常総会運営について
- 5 平成25年度看護業務功労者表彰について
- 6 平成25年度日本看護協会通常総会代議員研修会について
- 7 その他

平成25年5月25日(土)

17名出席

### ◆協議事項

- 1 役員を選定について
- 2 会長代行及び専務理事代行の優先順位について
- 3 その他、年間計画について

## 平成25年度 継続・新規入会申込み受付中です!!

- ◆ 入会手続き後に、勤務先、住所、氏名などが変更した場合には、速やかに「会員異動・変更届」を提出して下さい。変更が行われぬ場合、確実に郵便物が届きません。変更届様式は当協会ホームページ (<http://k-kango.jp>) よりダウンロードできます。必要事項を記入し、FAX・メールまたは郵送にてお送りください。
- ◆ 平成25年度、すでに他都道府県看護協会にて入会后、鹿児島県に異動された方は、当該年度のみ鹿児島県看護協会費が免除となりますので、当協会に確認後、転入手続きをお願いします。
- ◆ 入会申込書の送付依頼、入会・異動手続き、入会履歴等、ご不明な点はお問い合わせ下さい。  
TEL099-256-8081 FAX099-256-8079 E-mail:kakankyo@orange.ocn.ne.jp

## おし らせ

### 放送大学への入学を考えておられる看護協会員の方へ

- 20名以上の集団入学をした場合は、入学料が半額になります。
- 10月入学の場合は、出願期間が6月15日～8月末日までとなっています。
- 看護協会員の方で、入学を希望される場合は、7月末日までに看護協会までお知らせください。
- 20名に達した場合は、集団入学の手続きを行います。
- 20名に達しない場合は、個々での手続きをお願いいたします。

連絡先：県看護協会 庶務係 099-256-8081

## 編集後記

平成25年度の県看護協会通常総会が終了しました。広報委員メンバーも一新され、さらに魅力的な「看護かごしま」をご覧いただけるようはりきって編集しています。

さて今回の表紙は、世界遺産・屋久島の神秘の森「白谷雲水峡」をセレクトしました。皆様の心が少しでも癒されますように。

本年度もよろしくお願致します。



看護専門職として  
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の  
向上のため活動しよう

## 公益社団法人 鹿児島県看護協会

鹿児島市鴨池新町21-5  
TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079  
URL <http://k-kango.jp>  
E-mail [kakankyo@orange.ocn.ne.jp](mailto:kakankyo@orange.ocn.ne.jp)